

### **Ⅲ 競技力向上のための取組み**

# 競技力向上のための取組み

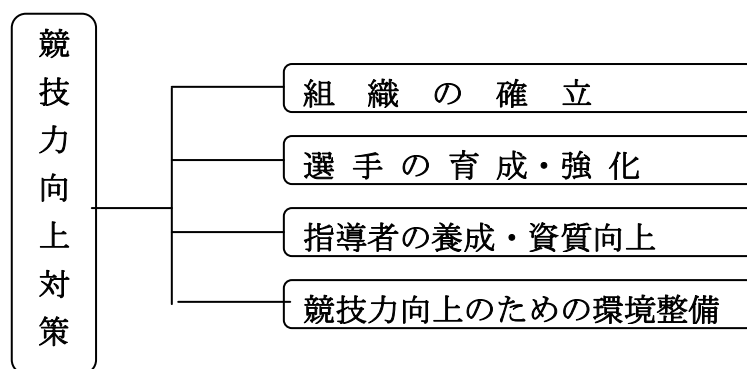
## 1 基本的な取組み方針

平成30年福井国体に向けて、この計画に基づき、本県の競技力向上対策を計画的かつ着実に推進するため、総括的な対策本部を設置し、競技力向上事業を実施する。

- (1) 県は、県体育協会、各競技団体等が行う計画的・段階的な選手強化対策を中長期的に支援することにより、一過性のものではなく国体後も引き続き競技力を維持できるように努める。
- (2) 県体育協会、中体連、高体連等の団体は、選手の発達段階に応じた適切な指導に留意しながら、福井国体を目標とした中期的な競技力の向上に努める。

## 2 競技力向上対策の4つの柱

競技力向上のための対策として、4つの柱を設定し、実施すべき施策の方向性を示す。



### 3 現状と課題解決に向けた施策の方向性

## (1) 組織の確立

#### 【 現状・課題 】

- 競技力向上対策を総合的に計画し、対策を実施できる組織がない。
- 各競技団体において、組織的・計画的な選手の強化体制が必要。
- 各競技団体において、将来を見据えたマネジメントが必要。
- 競技団体等を公平で客観的に評価するための基準がない。

#### アクション 1

#### 対策本部による総合的な実施・指導体制

##### ① きめ細かな指導体制、助言体制

「福井県競技力向上対策本部」（仮称）において本県の競技力向上対策を総括するとともに、各競技団体に対してきめ細かな指導・助言を行い、各種強化事業を効果的に推進します。

##### ② 競技団体の評価と強化事業の改善

各競技団体の競技実績、潜在競技力、各種競技力向上事業の取組み状況等进行分析・評価し、各種強化事業の改善を図ります。

#### アクション 2

#### 競技団体の組織的、計画的な選手強化体制

##### ① 競技団体における強化指導体制の確立

組織的な強化対策を実施するため、各競技団体において強化部等の組織の確立・充実を図り、競技団体あがての取組みを推進します。

##### ② 競技団体における強化計画の策定

競技団体内の強化責任者を中心に、競技種別強化計画を策定し、的確な現状分析に基づいた強化事業を効率的、効果的に実施します。

##### ③ 各競技アドバイザー等の配置（委嘱）

専門の立場から組織体制や指導者の資質向上等の指導助言を行う、全国レベル

で実績のある中央指導者等を配置(委嘱)し、各競技団体の組織強化を図ります。

## アクション 3

## 団体間のネットワークの確立

### ① 学校体育団体と競技団体の連携

中体連、高体連等の学校体育団体と競技団体が密接なネットワークを構築し、競技ごと学校ごとの強化水準の設定や強化プログラムを実行し、ジュニアから成年までの選手強化を図ります。

### ② 社会人スポーツ推進協議会(仮称)の設置

競技チームや有望選手を擁する企業等を中心に、「社会人スポーツ推進協議会(仮称)」を設置し、選手、指導者の強化活動の場の確保、選手、指導者の受け皿づくりを推進します。

### ③ 会場地市町と開催競技団体の連携

国体後も競技会場地において当該競技が継続して取り組まれるように、開催市町と競技団体との連携した取組みを進めます。

## (2) 選手の育成・強化

### 【 現状・課題 】

- 子どもたちの体力・運動能力は、全国トップである。
- 少年種別の強化は、学校部活動が中心である。
- インターハイ（高校生）の成績は全国中位である。
- スポーツ少年団と中学の部活動への連携が必要である。
- 成年強化の中心となる企業チーム、大学チームが少ない。
- 国体で入賞できる競技とそうでない競技の二極化がおきている。

### アクション 1

### 少年種別選手の強化

#### ① 選手の発掘・育成・強化

体力や競技能力に優れた子どもたちを県内全域から発掘し、中長期計画で育成・強化を図る「競技者育成プログラム」※1をもとに、強化を図ります。

#### ② 強化校の指定

競技の会場地市町等を考慮して、強化すべき学校を指定し、学校単位での強化策を推進することで、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会での競技力の向上を目指します。

#### ③ 未普及競技の育成支援

全国で入賞歴のない競技や、県内での普及が十分でない競技に対する特別強化・普及対策を図り、競技力の二極化を解消して、国体実施競技の全41競技団体による、県全体のレベルアップを目指します。

#### ④ 会場地市町における強化

会場地市町と競技団体とが連携し、地域内の小・中・高校生に対する当該競技の育成・強化に努めます。このため、学校および関係機関に当該競技の運動部活動設置やスポーツクラブでの強化を働きかけていきます。

## アクション 2

### 成年種別選手の強化・確保

#### ① 一貫指導体制 ※2 の推進

ジュニアからの一貫した強化策で優秀な成年選手の育成を目指し、高校段階までに培ってきたジュニア選手の競技力をより向上させ、成年強化策を図ります。

#### ② 大学における運動部活動の支援

県内の大学に対し、推薦入試制度等を活用し、高い競技力を有する選手の受け皿としての役割を果たしてもらえるよう理解と協力を求め、その部活動が強化の拠点となり、成年強化の中核となるよう支援します。

#### ③ 企業チームやクラブチームによる強化

企業チームやクラブチーム等が行う、国体や各種全国大会に向けた合宿や遠征試合等の強化策を支援し、成年種別の強化を図ります。

また、企業スポーツの充実が地域の活性化につながる方策を推進します。

#### ④ ふるさと選手制度の活用

一貫指導体制により、ジュニアから育成・強化された選手が、本県選手として継続的に活躍できるように、「ふるさと選手制度」※3を活用し、他県で活躍する大学生や優秀な選手の確保に努めます。

#### ⑤ 教員採用における、スポーツ特別選考の活用

教員採用試験でのスポーツ特別選考制度 ※4を活用し、全国トップクラスのスポーツ選手など、優秀な人材の採用に向けて取り組みます。

## アクション 3

### 優秀選手の県外流出防止

#### ① チーム福井の早期創設

競技団体が実施する、ジュニア選手の発掘・育成活動を通じ、早期に「チーム福井」を創り、強化指定選手等を指定することで、本県代表選手としての自覚と誇りを持たせ、有望選手の県外流出の防止を図ります。

#### ② 高等学校推薦入試制度の活用

優れた選手が強化指定された高等学校に進学し、引き続き県内で育成・強化できるよう高等学校推薦入試制度の充実を検討します。

## (3) 指導者の養成・資質向上

### 【 現状・課題 】

- 基礎資格保持の指導者は多いが、高資格保持者は少ない。
- 学校部活動で、指導者の専門性を配慮した配置が必要。
- 指導者が高齢化している。
- 指導者の配置に地域的な偏りがある。

### アクション 1

### 熱意を持った指導者の養成

#### ① 指導者の養成・資質向上

講習会開催、県外研修会等への参加や競技団体内での伝達講習会、情報交換会等の開催を支援し、県下全域における熱い志を持った指導者の育成と、地域スポーツ振興の中核となる人材の育成を図ります。

#### ② 公認スポーツ指導者資格取得の促進

より高い競技力を目指した指導を行うためには、高い専門知識と技術を備えた指導者の育成が必要であり、日本体育協会公認スポーツ指導者の資格取得を積極的に促進します。

### アクション 2

### 指導者の確保と適切な配置の促進

#### ① 外部指導者の活用

スポーツ指導者バンク（県広域スポーツセンター内設置）の充実を図り、指導者の発掘と派遣ネットワークの拡大に努め、専門的指導者のいない学校や地域のスポーツチーム、総合型地域スポーツクラブへ指導者を派遣し、強化事業を推進します。

#### ② 専門性を考慮した配置

運動部活動の振興と競技力の向上を図るため、中・高等学校に勤務し運動部活

動において優れた指導力を有する教職員について、専門性を考慮した配置に努めます。

特に、強化校における優秀指導者の長期配置や未普及競技の指導者の確保に努めます。

### ③ 国内外の優秀な指導者の活用

国内外から指導力の高いコーチを招へいし、強化コーチとして強化校等に配置し、競技力の向上を推進します。



## (4) 競技力向上のための環境整備

### 【 現状・課題 】

- 強化事業での選手・指導者の身分保障や参加体制等が整備されていない。
- 活動拠点や競技備品等が十分整備されていない。
- スポーツ医・科学を活用した強化が十分でない。
- 選手強化にかかわるアスレティックトレーナー等の専門家が少ない。

### アクション 1

#### 強化活動への環境整備

##### ① 練習用会場の確保

市町立学校の体育施設を含め、各種スポーツ施設などを有効活用し、チームが定期的に国体に向けた強化練習を行うことができる環境の整備に努めます。

##### ② 用具や備品の整備

強化事業を効果的に行うために必要な特殊競技用品等については、競技運営のための施設・用具の整備状況を勘案した上で、計画的な整備を検討します。

##### ③ 選手・指導者の参加体制の整備

競技団体等が行う強化活動に円滑に参加できるよう、勤務やサービス等の取扱いや学校教育活動の取扱いなどの配慮を、関係機関および企業等に要請していきます。

##### ④ スポーツ安全推進の整備

スポーツ災害による傷害保険、賠償責任保険制度の広報活動を積極的に行い、加入を促進し、安全指導や安全対策の充実を図り、スポーツ活動による事故防止を推進します。

## アクション 2

## スポーツ医・科学支援体制の充実

### ① スポーツ医・科学の積極的活用

県内医療関係者の協力を得ながら、医学面や科学面からのサポートを行うことで、選手の身体コンディショニングや健康管理を徹底させ、効率的、効果的な競技力の向上を図ります。

### ② 競技団体サポート体制の普及

心理、栄養、アスレティックトレーナー等の専門知識を有するスタッフを各競技団体に派遣し、普段の練習から大会への帯同を含め、継続した支援を行い、競技力の向上に努めます。

また、必要な派遣専門員（スタッフ）の確保に努めます。

## アクション 3

## 県民意識の高揚

### ① 広報活動の展開

各メディアと連携し、国際大会・全国大会における本県選手の活躍や大会の結果等を広報するとともに、県ホームページ、国体に向けた広報誌に積極的に掲載し、県民の理解・共感を得ながら、気運の醸成を図ります。

### ② 表彰・顕彰制度の整備

国際大会、国体、全日本大会等で、優秀な成績を収めた選手、指導者、団体等の表彰、顕彰制度を整備し、選手の活躍を称え、功績を県民に広く紹介していきます。

### ③ スポーツイベントの開催誘致

国体のプレ大会開催をはじめ、各種全国大会等の誘致・開催を支援し、高いレベルの競技を「観る」ことにより、県民のスポーツ参加やスポーツに対する関心を高めるよう努めます。